

### 「失敗から見えてくること」

校長 渡崎 次郎

私は物理の教員だ。これまで多くの実験をしてきた。理論はわかっても、実際にそうなるのか確かめなければ納得できない。教科書に載っていない実験もたくさんやってきた。なかなか上手くいかない実験もあり、生徒から「インチキ手品師」と言われたこともある。しかし、失敗からいろんなことが見えてくる。

熱気球を用いた浮力の実験だ。薄いゴミ袋と、カップケーキ用のアルミカップと針金、キャンプ用の着火剤（ジェル状）でできる。熱気球が浮かぶ条件は、

$$(\text{浮力}) > (\text{熱気球の重力}) + (\text{熱気球内の暖められた空気の重力})$$

である。理論は簡単だが、実際に浮かべるのは難しい。使用する針金を少なくして、熱気球の軽量化を図ることが一番のポイントだ。2人でペアを組んで1クラス20個の熱気球を作る。なかなか上手くいかないのだが、あるクラスで凄いことが起きた。同時に19個の熱気球が浮かんだのだ。1度浮かんでも数分で落ちてくるので、同時にはなかなか浮かばない。各ペアとも、いろんな工夫をしていたが、どうしても浮かばないペアがあった。何とか時間内に成功させたくて、針金を切ってチャレンジさせた。すると、授業終了まで残り5分のところで見事に成功した。自然と拍手が巻き起こり、しばらく全員で静かにその熱気球を見つめていた。するといきなり、静寂をぶち破る火災警報器のけたたましい音が鳴り響いた。なんと、みんなが見つめていた最後の熱気球は、火災報知器の真下に浮かんでいたのだ。大慌てで熱気球を下ろし、火を消したが、時すでに遅し。警報器は鳴り止まない。職員室から真っ先に走ってきた化学の先生が、教室に入るやいなや、「何遊んでるんですか!」と叫んだ。遊んでるわけではないのだが、確かに、教室にいくつものゴミ袋が浮かんでいると、遊んでるようにしか見えないか。授業が終わり、こっぴどく叱られるだろうと思いながら校長室に謝りに行くと、「次郎先生、その実験は成功したのか?」と聞かれた。「はい。過去最高です。」と答えると、「おめでとう!」と拍手してくださった。素敵な校長先生だった。ありがとうございました。

豊玉高校の皆さん、これからの人生、思い通りにならないこともあるだろう。だけど、決して諦めないで、勇気を持って行動できる人になってほしい。失敗しても、ただひたすらに、誠実に生きていけば、誰かがきっと助けてくれる。そう信じて、私も生きる。



### 12月の行事予定

12月 9日 (金)	1・2年島内企業説明会
12月13日 (火)	1・2年修学旅行 (-12/16)
12月17日 (土)	1・2年県一斉
12月22日 (木)	球技大会
12月23日 (金)	大掃除 終業式 LHR



豊玉高校  
ホームページは  
こちらから



豊玉高校  
紹介動画は  
こちらから



# 豊高祭

10月30日（日）、豊玉総合運動公園体育館（パルルドーム）で第46回豊高祭を開催しました。「桜梅桃李～Shine your color!～」のスローガンのもと、体育祭の部では青ブロックと黄色ブロックが手に汗握る戦いを繰り広げ、文化祭の部では各学年や有志参加の生徒達が創意工夫された演目を披露したり、総合的な探究の時間や部活動等で取り組んだことを展示したりしました。



スローガンに基づいて、一人一人が個性を輝かせ沢山の花を咲かせることができた最高の豊高祭を開催することができたと思います。体育祭の部では、全校生徒で行う演技やその他の競技に全力で取り組んでおり、地域の方々にパワーを届けることができたと思います。文化祭の部は、各学年・有志参加のそれぞれが限られた準備時間の中で工夫を凝らした、ダンスや動画など素晴らしい出し物ばかりでした。

生徒会長 波多野 泰史